

# 助産学専攻科教育課程概念図

## 人材養成モデル

1. 安全で質の高い助産実践能力および他職種と協働できる能力を身につけ、地域住民と相互にパートナーシップを築く存在として自己研鑽し、地域・国際社会の母子保健の発展に貢献できる助産師

2. 豊かな人間性と倫理観に基づき、地域特性や対象のニーズを踏まえた適格な対応ができ、女性とその家族のライフサイクルに応じた健康支援を自立して実践できる助産師

教育目標 1

教育目標 2

教育目標 3

沖縄のケアリング文化

教育目標 4

教育目標 5

### 助産学実践領域

- ・現代社会における女性や子どもを取り巻く状況や、沖縄県が抱える周産期課題への理解を深め、課題を焦点化できる力を修得する。
- ・女性の生涯を通じて、リプロダクティブヘルス/ライツに焦点を当てて支援する健康教育技法を修得する。
- ・助産学実習を通して最新の周産期医療および助産技術を学習し、対象の幅広いニーズに応えられる問題解決能力、実践能力を高める。

### 助産学発展領域

- ・国際社会を視野に入れて、女性とその家族のライフサイクルに応じた健康支援を自律して実践できる力を修得する。
- ・科学的探究心および研究能力を培い、生涯にわたり自己の資質の向上に努める力を修得する。

### 助産学基礎領域

- ・生命尊重・倫理観を深めながら、沖縄のケアリング文化を理解し、命に寄り添う助産師の役割や、保健医療福祉関係者との協働・連携について学ぶ。

### 学部教育（人間健康学部 看護学科 専門教育領域）

基礎看護学 地域・在宅看護学 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学  
看護の統合と実践

